

# 鹿兒島県立川内高校 P T A 新聞

第 66 号

編集 鹿立川内高等学校  
発行 PTA文化部  
鹿兒島県薩摩川内市御陵下町  
電話 (23) 7274

## 『絆』

PTA 会長 宮 司 信 吾



創立百十四年目の歴史と伝統ある、川内高校の平成二十三年度 PTA 会長を務めさせて頂くこととなり、職責の重さを実感しております。若輩者の私ですが、歴代会長の皆様同様「PTA は子供たちと先生方の応援団」という思いを引き継ぎながら、新役員と共に精

一杯頑張りますので、PTA 会員の皆様のご支援・ご協力の程、よろしくお願い致します。  
去る、三月十一日、「東日本大震災」というすさまじい自然災害の猛威を私たちは目の当たりにすることとなりました。日々拡大していく被災地の惨状に誰もが復興・復旧を願ひ、何か小さいことからでも被災地を支援しましょう……と動き始めた頃、川内高校生徒会を中心に「エールを送るた

めの作品展示・義捐金募金活動・文化祭でのチャリティーバザー」等、川内高校の子供たちと被災地を結ぶ『絆』が素晴らしい形として生まれました。子供たちの「行動力・決断力」にただ感心するばかりです。もちろんこの『絆』をバックアップし支えて頂いた PTA 会員並びに諸先生方のご協力・ご指導に心より感謝致します。川内高校の子供たち一人ひとり考えが違ふなかで、何か一つの目標に向かつて一丸となり意思統一が出来たという事は、日本人としておかしいと言いたくなるような事件・事故が多い中、無縁社会と呼ばれる昨今ではありますが、「そんなことないよ」「大丈夫だよ」と私たち大人へ重要なメッセージを送ってくれました。今さらなが

ら子供たちの人間としての成長という大ききを感じることが出来ました。2011 春、子供たちがそれぞれ様々な思いで築き上げた『絆』を人生の誇りとして忘れることなく、仲間（友達）を大事に、思い出深く意義のある高校生活を送って下さい。  
私たち保護者も川内高校という素敵な場で出会えた「一期一会」を大切に、教育熱心な諸先生方とコミュニケーションや連携をとりながら『絆』を創り上げ、人生の先輩として何らかのアドバイスを送り、文武両道を目指す子供たちが充実した、楽しい高校生活が過ごせるような環境づくりに努め、子供たちのために明るく未来を約束できる PTA 活動を積極的に進めてまいります。

## 風に立つライオン

校長 山之口 大



活や人生観が変化したのは間違いないようです。特に、この大震災で国民の心に深く刻み込まれたことは、救命や捜索活動に当たる自衛隊員や消防士、警察官、そして被曝の危険を顧みずに立ち向かう東京電力関係者などに代表される「公のために尽力する姿」ではないでしょうか。

では、「これまで『自分は何がしたいか』という視点だけで進路を語っていた生徒が、『家族や地域のために何ができるか』という視点で進路を語るようになってきた」と教師たちは語っています。また、岩手県立釜石高校の一年生は、「高校生活の中で『人のために生きる自分を形成したい』と思う」と決意を述べています。また、全国の地方公務員の採用試験では消防士希望の受験者数が増えています。

「この偉大な自然の中で病と向かい合えば／神様について人について考えるのですね／やはり僕たちの国は残念だけれど何か／大切なところで道を間違えたようですね」  
診療所に集まる人々は病気だけ／少なくなると心は僕より健康なのですよ／僕は来て良かったと思っています／辛くなくないと言えは嘘になるけどしあわせです。／空を切り裂いて落下する滝のように／僕はよどみない生命を生ぎ

たい／キリマンジャロの白い雪それを支える紺碧の空／僕は風に向かつて立つライオンでありたい」  
女性医師もこの歌の青年医師と同様、自分が生まれてきた意味は、なぜ医師という職業を選んだのかなど、自問の末での結論だったことでしょう。  
国家的危機を乗り越えて日本が復興するには長い年月が必要となります。そして復興の主力は若者に委ねられることとなります。川内高校の生徒諸君は勉学に励み、心身を鍛えて欲しい。そして、自分の進むべき道をきちんと据え、困難な状況の中にあっても希望と誇りを失わず、毅然として前に進んで欲しいと思います。

東日本大震災から四ヶ月経ちました。東京大学の御厨教授が、日本の歴史を区分する時、今までの太平洋戦争後の「戦後」から今は「震災後」という言葉が用いられるようになるだろうと述べていますが、三月十一日を境に、被災者だけではなく国民の生

進研模試のベネッセ社が発行する冊子に被災地の高校生の意識がどう変わったかという記事が載っていました。被災地の高校生にははつきりと「公に尽くす」という意識が芽生え始めています。宮城県立気仙沼高校

NHK が、被災地の病院で勤務する女性医師の姿を取り上げていました。東京の病院を辞め、被災地で働く姿は、歌手のさだまさし氏がケニアで国際医療ボランティアとして三年間勤務した青年医師の実話を基にした「風に立つラ

ら子供たちの人間としての成長という大ききを感じることが出来ました。2011 春、子供たちがそれぞれ様々な思いで築き上げた『絆』を人生の誇りとして忘れることなく、仲間（友達）を大事に、思い出深く意義のある高校生活を送って下さい。

私たち保護者も川内高校という素敵な場で出会えた「一期一会」を大切に、教育熱心な諸先生方とコミュニケーションや連携をとりながら『絆』を創り上げ、人生の先輩として何らかのアドバイスを送り、文武両道を目指す子供たちが充実した、楽しい高校生活が過ごせるような環境づくりに努め、子供たちのために明るく未来を約束できる PTA 活動を積極的に進めてまいります。



# 第55回九州地区高等学校PTA連合会大会

## ～肝美らさ沖縄大会～

期日 平成23年6月16日(木)・17日(金)  
 会場 第1日目 パシフィックホテル沖縄  
 第2日目 沖縄コンベンションセンター(展示場・劇場)

### メインテーマ

「親ごころ、子の思い、伝え合い、夢を語ろう」～優てい、揃てい、御万人ぬ肝美らさ～

### スローガン

- ① 強く、たくましく、心豊かな青少年を育てる原点は「家庭教育」にあることを再認識しよう
- ② 親・保護者と子、親・保護者同士、親・保護者と教師が共に学び行動するPTA活動をさらに推進しよう
- ③ 学校・家庭・地域社会は連携を深め、青少年が「夢と希望」を育む環境づくりを推進しよう
- ④ 限りなく進展するデジタルメディア社会の中で、対人関係のスキルが身に付く環境づくりに努めよう

出発当日の朝、バケツをひっくり返した様な大雨の中、やっと辿りついた空港、暴風雨の中、無謀にも飛び立った飛行機は、あつと言間にブルスカイが広がる、キラキラと輝く島、沖縄へ私達を運んでくれました。気温32度、セミの音が響き渡る中、第55回九州地区PTA連合会は上記のメインテーマとスローガンを掲げ開催されました。

沖縄には「親め言ゆしごとや、肝に染みてい」との言い伝えがある様で、まず私達親が率先して力を合わせ、共に学び、活かす事が肝要であり、子供達に、親としての生きざまをしっかりと伝えていく必要がある。親としての責務を自覚し、日常的に学習を積み実践すると言う趣旨の元、私達は、第三分科会の高校生の食とPTA活動をテーマにされた、食育教育研究家の高山厚子先生の講演会、PTA活動実践報告、協議に参加致しました。内容は、何れも立って行く子供達に、食べる事への興味、食材を選ばず知識を、親の背から学ばせる、共に食事の支度をしながら意見を確かめ、会話の中から知識・知恵を伝える……という先生のお話にとても衝撃を受けました。毎日の慌ただしい生活の中で、「家族に食べさせなきゃ」という思いだけが先走り、「共に」などと考えもなかった事、又、早寝早起き、朝ごはんは体内リセットに繋がる、規則正しい生活は、子供達に伝える事、学ぶ事が多い……と理解はしていても、現実には時間に追われる様に過ごしている事、先生のお話が進む中、反省させられる事がいっぱいでした。が、まだ間に合う!! 私達の親から教わった家の味、祖先の味、地元を、普段の生活の中で、ごく自然に父や母と、子供達と共に作り、味見をし、会話をし、又私も教わり伝えていく事を心掛け、難しく考えず、出来ることから取り組んでいこうと前向きに受け止めた次第でございます。

今回この様な素晴らしい機会をお与え下さいました事に深く感謝致します。ありがとうございます。

# 平成23年度 P T A 役員・各部の活動内容

## 総務部 部長 P T A 会長 / 副部長 副会長

会長	宮司 信吾	26日	監事	谷口 真毅	22日
副会長	田中 康代	23日		田中 英人	14日
	米澤 美樹	37日		植村 論	教務
	桜木 一幸	27日			
	古里洋一郎	35日			
	藤崎 恭一	教頭			

- 各部活動の連絡調整
- 会計に関する事
- その他の部に属さない事項

**厚生部** 部長 吉永真由美(26日) / 副部長 瀬口俊二(18日)

● 学校行事への積極的協力 ● 生徒、会員の厚生面の充実



盛夏を迎える季節となりました。厚生部では、学校行事(文化祭・体育祭・強歩大会など)への協力、学校保健委員会への参加を保護者の方々へ呼びかけて、積極的に活動していきたいと思っております。また、生徒の皆さん、PTA会員の皆様、より良い学校生活を送れますように、サポートできる厚生部でありたいと思っております。

六月に行われました文化祭では、たくさんのお供品のご協力ありがとうございました。おかげ様で、東日本大震災への義援金とすることができました。

子供達が楽しく学校生活を送るために、今できることを保護者の方々と力を合わせて活動し、人と人との関わりを大切に、皆様とのつながりが広がることを楽しみに頑張っていきたいと思っております。一年間よろしくお願ひします。

**文化部** 部長 山口章二(14日) / 副部長 川路ゆかり(34日)

- 研修視察の実施
- 広報活動
- 教育の諸問題に関する調査



文化部長という大役を命ぜられ、やむなく、そして三十六年ぶりに川内高校の門をくぐることになりました。前々古田PTA会長と同期の27期生。部活動はラグビーで、先日講演に訪れた松永信也君とも一緒にプレーしていました。吉川小学校、高城東中(現平成中)出身です。

こう書く、或いはどこか共通点のある保護者もいらつしや

るかも知れません。一度話をしてみたいと思う方もいらつしやるでしょう。一つの共通点から交流が始まり、思わぬ発展を遂げる時もあります。PTA活動も同じです。「子どもが川高生」という唯一の共通点から出発し、卒業するまでの間に多くの共通点を見出し、語り合い、励まし合い、そしてそれを学校や子ども達に返していく、それがPTA活動だと思います。

まずは語り合います。さらけ出し合います。組織のコミュニケーションが充実し円滑にいく為には、まず「個」「個」を基に「生徒」「教職員」とも、その機会を多く作り、応援していくことと考えます。皆さんのご協力、よろしくお願ひ致します。ちなみに、副部長の川路さんは私の従兄妹です。「いとこコンビ」で頑張りますので応援してください。

**生活指導部** 部長 三角文孝(35日・11日) / 副部長 清松正智(34日)

- 生徒の校外生活の指導及び朝の街頭指導
- 基本的な生活態度の育成
- あいさつの励行
- 交通安全指導に重点的に取り組むとともに声掛けも行う。
- 地区PTAへの協力(全地区開催を目指す)



本年度、生活指導部部長を務めさせて頂きます。三角です。どうぞ、一年間宜しくお願い致します。現在、日本経済は大変厳しい時代になっており、これから少子高齢化へと突き進み、子供たちが社会人となる時代も決して大幅な経済成長が望めない状況となりそうです。そのような時代を生きて行く子供たちにとって大事な高校生活。友をつくり、勉強・部活動に一生懸命に取り組む、規律正しい生活を送ることが重要と考えます。「文武両道」を掲げる川内高校で子供たちが充実した3年間の学校生活を送れるように、微力ではありますがお役に立てればと思っております。

そこで生活指導部では、右にありますが内容で活動し、行動して参ります。

副部長の清松様(34日)はじめ部員の皆様と一緒に活動して参りますので、是非ご協力の程、宜しくお願い致します。

**第一学年 委員長 桑原重隆(11日) / 副委員長 綾子(15日)**



今年度の一学年の努力目標は、七項目あります。どれをとっても一学年にとっては重要な目標だと思います。

1. 基本的な生活習慣の確立では、先生方・先輩たち等への挨拶。これは、人として最低限の行為ではないでしょうか。2. 基礎的な学力の充実では、一年で学ぶ内容は、二年・三年で活かされてきます。毎日の勉強を怠らず頑張ってもらいたい。3. 適切な進路の選択については、何事に対しても基礎が大切です。4. 適切な進路の選択については、まず生徒本人の得手、不得手を見極め、不安な時は、本人、親、先

# 新任者紹介

今年度は、新しく14名の先生方が本校に赴任されました。川内高校のさらなる発展のために尽力して下さる、意欲にあふれた先生方です。どうぞよろしくお願ひします!

 <b>田之上 浩樹 先生</b> 川内高校の生徒のみならず、大人も一緒に学んでいきたいと考えています。よろしくお願ひします。	 <b>瀬戸口 忍 先生</b> 約20年ぶりに川高に帰ってきました。川高生、頑張れ! 私も頑張ります。	 <b>小島 義幸 先生</b> 生徒と一緒に汗をかき、共に成長していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。	 <b>長光 優樹 先生</b> 広島から2年間の人事交流で来ました。生徒の明るい未来のために尽力していきます。	 <b>精松 祐介 先生</b> 川高一の産し系になれるように境界突破で努力したいと思ひます。川高生皆さん、共に頑張ろう!!	 <b>寺尾 博信 先生</b> いつも笑顔で、明るい学校を作るために頑張っています!!
 <b>上 島 恵介 先生</b> カミハタです。どうぞよろしくお願ひします。	 <b>下川路 香織 先生</b> 三年間の育児休業を終え復帰しました。また川高生のために頑張りたいと思ひますのでよろしくお願ひします。	 <b>上 畑 浩二 先生</b> 精一杯の努力をしていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。	 <b>藏 明広 先生</b> 一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願ひします。	 <b>是 枝 敬史 先生</b> 川高生皆さんに言語の奥深さ、学ぶ楽しさを伝えたいと思ひます。宜しくお願い致します。	 <b>増 山 こすえ 先生</b> 中学卒業以来久しぶりに帰ってきました。川高生のために頑張ります。よろしくお願ひします。

生との三者で話し合った上で決めたらどうでしょうか。4. 部活動と学習の両立では、川内高校は文武両道をモットーに、ほとんどの生徒が部活動に励んでいます。どちらも掛けずに頑張ってもらいたいものです。5. 健全な精神と肉体の育成でも、同じような事が言えると思ひます。6. 交通安全では、特に自転車通学の生徒にルール・マナーを守ってもらいたい。7. 修学旅行実施への研究と準備では、旅行は二年時に実施されますが、金銭的負担が大いと思ひます。今から準備されたらどうでしょうか。以上、七項目について、私なりの思いを書いてみました。

**第二学年 委員長 福山勝広(28日) / 副委員長 南 弘昭(21日)**



今年四月娘が二学年に進級した際には、まさか学年委員長を引き受けることになるとは夢にも思いませんでした。小・中学校でのPTA役員等の経験はありましたが、小さい学校でしたし、必ず回ってくるようなポジションであり、川内高校のような、必ず諸先輩方がいるところか、との気持ちで本心でした。しかし、大きくても小さくても誰かがしないと、まして子供達に行動力を持てと言っている手前、一年間だし頑張ってみるか、と気持ちを切り替え引き受けることにしました。

実際会議等に出席し、引き受けてよかったなと感じているところ。文武両道を掲げ何事にも頑張る先生方の姿をまじかに感じ、少しずつ川内高校が近くなっている気がしています。

二学年は川内高校の中心学年です。一学年の二本となり、三年を支える、そんな学年を目指せたいと思ひます。生徒・教師・保護者ががっちり肩を組み、充実した一年にできればと思ひます。一年間よろしくお願ひします。

**第三学年 委員長 長嶺英博(33日) / 副委員長 今藤高一(32日)**



この度、第三学年委員長を拝命致しました長嶺です。宜しくお願い致します。

今年度の努力目標は昨年度の目標と概ね同様ですが、その中でも私は「心身の健康管理に気をつけろ」と「交通事故防止に努めろ」の2点に特に留意して欲しいと思ひます。

私自身も病院に勤務していますが、息子と同世代の子どものさんが病気で事故で入院し、本人やご家族が大変なご苦労をされている姿を見ると、とても心が痛みます。私は学生時代から現在に至るまでに、病気や事故で大切な人生を失ってしまった方々を多く見てきました。現在も交通事故で入院中の高校3年生のリハビリを行っています。二親親の心構えは如何ばかりかと思ひます。

川内高校のみならず、くれぐれも元気で高校生活を楽しんでください!!



ラグビー部



私たちラグビー部は、三年生が引退した後一年生7名、二年生7名、マネージャー2名の計16名で活動しています。ご存じのようにラグビーは基本的に15名でプレーされる競技なので、ザップ等を考えると、あと5名の部員が欲しいところです。10人制形式や7人制形式の試合も実施されるので、大会に参加できないというところはありません。しかし、どの競技でも同様のことで、人数が多ければ多いほど活気が溢れるので、もっと部員数を増やしたいのが本音です。

ここ数年の大会の結果は一度年度の10人制の大会で県1位となり、沖繩で開催された九州大会に出場しました。昨年度も10人制(9人で臨んだ)の大会で4位となり、残念ながら九州大会に出場できませんでしたが、少ない人数ながらもまずまずの成績を残していると思います。ラグビーはルールが複雑ですが、理解するとこれ以上におもしろい競技はないと言われていきます。またラグビーで最高力を発揮するためには、次の四つの要素が必要と言われています。①スピリット(精神) SPIRIT ②体力(ストレングス) STRENGTH ③技術(テクニク) TECHNICS ④人格(パーソナリティ) PERSONALITY この一つ一つを充実させればさせるほど十分に力が発揮される時です。自我を捨てて、チームのために貢献する犠牲的努力。スピード、筋力、瞬発力、持久力、柔軟性、という運動を行なうための重要な要素。立派なプレーを望むための、優れた技術と状況判断。そのゲームの性格上、激しい闘争心を必要とする反面、自らを律する強い理性。卒業生の中には全日本に選出された方も2名いらっしゃると聞いています。先輩方に続けるように良い成績を残すと同時に、ラグビーという競技を通して人間的にも成長していきたいと思っております。応援の方もよろしく願います。

部活動今昔物語

「ボールを出せ」スクラム ハーフからの指示……

スクラムを組み、ボールが入る 保護者 桑原重隆

これらナンバー8の所に転がって。このナンバー8は、その日初めて任されたポジションで、実は私でした。試合当日の練習でレギュラーのナンバー8が怪我をし、試合に出られなくなり、急ぎよフロントロー(PR)の私がすることになりました。ナンバー8のポジションは、普通の練習でもしていないのに、どんな動きをしたら良いのか解らないまま、試合に臨みました。スクラムハーフから、ボールが来たら蹴り出せと言われて、すぐ出しました。「ボールを出せ」と……。

当時の川内高校のラグビー部は、先輩が引退した後は、十五人揃わず、私と他二人(内一人卒業後東京大学入学)が補充メンバーとしてラグビー部に入部しました。その後も何年かは、部員が足らず、他の部からメンバーを補充していたそうです。今、思い出せば四十年前位前の事ですが、毎日毎日の練習が楽しく、多少の怪我でも何ともなかったような気がします。雨の中、雪の中を走り廻ったあの時の光景が浮かんできます。いい思い出として残したいものです。

剣道部

私たち剣道部は、男子6名、女子5名、計11名で活動しています。六月三日、四日に行われた、三年生の引退のあった県総体では、男女共に悔しい結果に終わってしまいました。自分自身の試合に後悔がないと言ったら嘘になりますが、チームとしては、三年生はこれまでの集大成を発揮し、全員が一致団結して剣道ができたと感じました。三年生が引退した今、まだまだ慣れない部分が多いですが、二年生が中心となって日々稽古に励んでいます。

今、私たちは基礎を中心とした稽古をしています。単調な稽古で、つまらなく感じることもありますが、基礎の大切さ、難しさも実感します。来年、私たちが三年生になったとき、今の三年生に追い付きたいです。そのためには、基礎がしっかりとないければなりません。また、今までと同じ稽古ではなく、更に工夫を加えた稽古をして、心身ともに鍛えることも必要です。一人でそれを成し遂げることは難しいですが、全員で取り組むことによつて、それは実行できると思います。

そして、来年の最後の試合を悔し泣きではなく、嬉し泣きで終わられるように、これからも一所懸命稽古に取り組んでいきたいです。

弓道部



文武両道

濱崎志帆書

ナンバーワンを目指す オンリーワンの輝き

三年生10名が引退した後、現在、弓道部には二年生11名、一年生18名の計29名の部員が所属しています。

弓道は老若男女問わず、誰でも、いつでも始められる日本古来の武道であり、全国的な競技者人口も徐々に増加の傾向にあります。

しかし、北陸地区で弓道部がある中学校はほとんどないため、部員のほぼ全員が初心者です。そのため一人一人が高い意識を持ち、仲間と切磋琢磨しながら日々の練習に取り組んでいきます。

私は三年間弓道部に所属して、大きく分けて二つのことを学びました。

一つ目は「礼儀」です。弓道などの武道において、教えて下さる先生はもちろんのこと、道場仲間、大会で競い合う他校の生徒、様々な場面で礼儀作法を重んじます。加えて私は部長という立場であったので、先生方など目上の人と話をする機会が多く、自然と敬語が身につきました。二つ目は「仲間の尊さ」です。

部全体をまとめる立場にあったことは、私にとって非常に辛い時期がありました。どんな選択をすれば一番良いのだろうか。考え方の異なる部員たちを、どのようにして引っぱっていかうかと、何度も壁にぶち当たり、何度も情けない姿を見せてしまっていたかと思えます。ですが、その度に励まし、支えてくれた副部長をはじめとする仲間のおかげで、私は部長としての役目を無事に終えることができました。今まで協力してくれた部員たちには言葉では言い表せないほど感謝しています。

卓球部

この弓道部で過ごした一日一日が私にとっての宝物であり、誇りです。ここで得たものを胸に刻み、これからの生活に生かして行きたいと思えます。

また、顧問の先生方も忙しく、部活に顔を出せない日もある現在、一年生への指導など、「これで本当に大丈夫なのだろうか」という不安もありながらも、みんなが考え、意見を出したりしながら日々練習を頑張っています。

放課後の練習ができる時間は、その日その日によって異なりますが、基本的には、決まっている練習メニューをこなす、時間に余裕のあるときには、違うメニューや各自が弱いと思う部分を克服するためそれぞれに合わせた練習をしています。平日は短い時には一時間、長い時には二時間半ほどの練習時間しかないのですが、ほとんどはいつも通りの練習だけで終わってしまいます。休日には十分な練習時間が確保できているので、いつもとは少し違った練習までできます。

川内高校生は、部活動だけでなく勉強や行事などにも力を入れている、それらすべてをこなすのは、とても大変なことだと思っています。最近あった行事では、文化祭の準備などで、部員全員が集まって活動することができない日もありましたが、それぞれに与えられた役割を果たしながら、忙しい毎日



の中で部活動までこなすことは本当にきついです。でも、それを乗り越えた後の達成感、川内高校生でなければ味わえないものだと思います。

演劇部



私たちが演劇部は、三年生が引退した今、二年生4人、一年生5人の計9人で毎日楽しく練習に励んでいます。

演劇部は男女や先輩後輩との隔たりがあまりなく、全員の仲が良いことが自慢です。入部する前は、初めての活動であり、いささか不安もありましたが、入部の初めから先輩方が明るく迎えてくださいました。それ以来、僕にとってこの部活は、学校生活の中で最も楽しい場所となりました。

演劇部が劇を発表する機会は、六月の校内文化祭の他にも、たくさんあります。演技・脚本・音響・照明・舞台装置等の講習会を兼ねた夏季大会、全国大会を目指す秋季大会、生徒創作劇の冬季大会。その他にも新入生歓迎公演や、同窓会館での小さな発表会も計画していて、年間を通して劇作りに取り組んでいます。

また、演劇というと舞台上で演技する役者だけでなく、音響や照明・装置・衣裳などスタッフの仕事もあり、一人一人違った役割を果たして一つの作品を作りあげるところに一番のすばらしさがあります。幕がしまつて、観てくださった方々の拍手をいただいたり「面白かったよ」と褒めてくださったりすると、作りあげるまでのさまざまな苦悩がふっ飛んで、言いようのない達成感に包まれます。

個人的な部員が多く、引つ張っていくことは難しいですが、これからもみんな力で合わせて良い作品を作っていきたいと思えます。





～今年の思いをこめて～



オープニング！ 書で思いを伝えます！



毎年恒例？



プラネタリウム、凄すぎ！



がんばろう！！



アイス売れました～。



生徒会バザーも盛況！

# 第64回 川内高校文化祭

『結』

～思いをつなげて大きな力に～ 文化部



日本文化に触れながら…

6月18日、第64回文化祭が開催されました。

今年は、土曜日開催となり、小学生連れの家族や高校見学を兼ねた受験生、制服姿の他校生等例年と異なる風景も見られました。

展示コーナーで、輪投げや射的等のゲームを楽しむ小学生の姿が微笑ましかったです。

また、東日本大震災の義援の為に活動も多く見られました。

「『結』～思いをつなげて大きな力に～」というテーマで、各々の部門に真剣に取り組む姿に触れ、とても感動しました。子ども達の生き生きとした表情を見ながら、改めて『川内高校、いいなあ』と嬉しくなり、今から来年の文化祭が待ち遠しいです。



化学の芽を育てます！



心に響きます！



子どもが大好き！



ダンス・ダンス・ダンス！



祈りをこめて…



有志によるラオス報告



英会話同好会の初挑戦



中は本当に怖かった…

# 保護者の広場

## 学級懇親会

一学年

15H 保護者

去る六月四日、入学式の日より担任の精松先生が熱望されていた懇親会を、学年トップを切って開催することができ、二十二名という多数の参加をいただきました。乾杯の後、おいしい料理をいただきながらしばし歓談。家ではなかなか話をしてくれないので情報収集に来ましたといわれる方、中学の時なら簡単に諦めていたことも粘り強くやるようになったといわれる方、お弁当の謎が解けましたといわれる方など様々な話



が聞けました。

ここ二カ月のうちに起こったさまざまな変化に親も子も一所懸命に向き合ってきた事がよく分かりました。

また、先生が話してくださる子供の様子や家での様子の違いを聞き、驚いたり笑ったりと大忙しでした。

先生がPTAの時から「このクラスの子供たちはいい子達です。クラスの雰囲気もすごくいい」とおっしゃっていました。裏付けするようないい思いがいろいろの保護者の皆さんでした。

次は子供たちと一緒に、その次は〇〇さんの地域で懇親会を二回目三回目も約束して(?)お開きとなりました。

一学年

28H 保護者

四月、クラスと担任の先生の発表がありました。當クラスでした。当たっちゃいました。一学年時には違うクラスでしたが、熱い先生のうわさは耳にし、野球の全校応援、体育祭等で拝見はしておりました。楽しい一年になりそうな予感がしています。

『教師が燃えれば生徒は燃える！保護者が燃えれば子供も燃える！何事にも全力で燃える日本一のクラスを目指そう！』

これを、二年生は学校の中堅学年として生活していきます。悩み、壁にぶつかる時がきつと来るでしょう。その時こそクラスのスローガンを思い出し、クラス全員で泣き、そして笑い、三月にはこのクラスでよかったと言える28Hを作ってほしいものです。そこに、微力ながらも懇親会での熱さを注げる保護者でありたいです。一年間共がんばります。

二学年

32H 保護者

大雨の文化祭の当日の夜、32Hの懇親会を開催いたしました。会は、終始文化祭の話題で盛り上がりました。まず、わがクラスの生徒・保護者が全幅の信頼を寄せている愛すべき担任が、なんと他のクラス(?)のアンケートにより「怖い先生トップ3」にランクインされるといいうハプニングに、皆で大笑いしました。また、生徒会長のお父さんは、最後に息子の挨拶があるという事で、朝から緊張のあまり血圧が上昇し、献血ができなかつたとの話にも大爆笑でした。ちなみに、生徒会長の挨拶はもつと聞きたくらい短くてわかり易いといった印象でした。



副担は、幼い息子さんがみんなに一生分の「かわいい」を言ってもらい、「高校はいいとこだね」と大満足の様子でお母さんの仕事を少し理解してもらえたかもしれませぬ(笑) クラスの出し物は、昨年好評のミニドラマの続編で、生徒たちが創作し演技力もグンと上がり、楽しくさわやかに仕上がり、皆で成長を感じる事でした。縁あって、このクラスで知り合えた私達保護者も交流を深め、子ども達がこれから立ち向かう厳しい日々を、一緒に乗り越えていこうと思っています。「こんな楽しい会をまたしたい」との声があり次会を計画中です。 追伸、他の会から駆けつけて下さった旧副担と保護者のお二人、有難うございました。



# 部活動の活動状況

〔平成二十三年度四月～七月〕

## 九州大会

### ★体育系

#### 〔男子バスケットボール部〕

南九州 4 県対抗バスケットボール選手権大会

2 位

全九州高等学校バスケットボール競技大会

2 回戦

#### 〔陸上部〕

第 64 回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

南九州地区予選大会

女子 400 m

早崎 光 予選敗退

11 位

女子 400 m

亀崎優奈 予選敗退

19 位

女子 4 × 400 m リレー

4 位 ↓ インターハイ出場

(山田佳奈・亀崎優奈・尻無あかり・早崎光)

#### 〔漕艇部〕

全九州高等学校ボート競技大会

男子ダブルスカル

(福留 慶・北島 裕)

女子クオドルプル

(前田早央里・池脇志歩・中村海旺・田畑結衣・留盛 空)

## 県大会

### ★体育系

全国高校総体鹿児島県予選

#### 〔バスケットボール部〕

男子 優勝 ↓ インターハイ出場

女子 ベスト 8



#### 〔漕艇部〕

男子ダブルスカル

優勝 ↓ インターハイ出場

(福留 慶・北島 裕)

男子クオドルプル

3 位

(川崎翔平・山崎友聖・初田大幸)

吉永大晃・崎山浩考)

女子クオドルプル

(前田早央里・池脇志歩・中村海旺・田畑結衣・留盛 空)

#### 〔陸上部〕

400 m

2 位 ↓ 南九州大会出場

400 m

5 位 ↓ 南九州大会出場

4 × 400 m リレー

3 位 ↓ 南九州大会出場

(柏木真梨・亀崎優奈)

尻無あかり・早崎 光)

4 × 100 m リレー

(水流恵理佳・尻無あかり・亀崎優奈・早崎 光)

4 × 400 m リレー

(尻無濱正太・新門徹也・下尾崎一仁・崎山智彦)

#### 〔水泳部〕

男子 50 m 自由形

1 位

男子 100 m 自由形

3 位

男子 400 m リレー

1 位 (大会新)

男子 800 m リレー

(米澤嘉紘・長嶺秀平・湯之原孝実・長嶺秀平・米澤嘉紘)

男子 400 m メドレーリレー

(飯屋瑛孝・池之野優誠・有村 将・福山拓夢)

男子 100 m バタフライ

2 位

有村 将



女子 50 m 自由形

6 位

女子 200 m 平泳ぎ

6 位

女子 200 m 自由形

8 位

女子 400 m 自由形

7 位

女子 400 m 自由形

8 位

女子 100 m 平泳ぎ

7 位

女子 100 m バタフライ

7 位

女子 400 m リレー

8 位

(今村 杏・北園恵理・四枝琴乃・野村 泉)

※以上の種目で九州大会出場権を獲得

#### 〔野球部〕

第 53 回 NHK 旗争奪県選抜

高校野球大会

ベスト 4

〔バスケットボール部〕

南九州 4 県対抗バスケットボール

選手権大会県予選

男子

優勝

女子

ベスト 8

〔バレーボール部〕

全九州バレーボール総合選手権県予選

女子

ベスト 8

#### 〔水泳部〕

県高等学校春季水泳大会

男子 200 m リレー

1 位

(福山拓夢・湯之原孝実・長嶺秀平・小園貴裕)

#### ★文化系

〔書道部〕

第 49 回南日本七夕書道展

県議会議長賞

南日本書道会賞

三浦あかり  
遠矢晃穂

#### 全校応援

5月30日 野球NHK旗準決勝・陸上1600mリレー

3学年応援

6月1日 バスケットボール県予選決勝

